

令和2年度 佐賀県相談支援従事者現任研修

個別相談支援と ケアマネジメント【演習】

令和3年2月4日(木)

佐賀整肢学園こども発達医療センター 林田 五月
神野病院 相談支援事業所さくら 寺本 ゆう子

2月4日(木)の流れ

時間	分	内容	形式
10:10~11:05	50	【講義】 個別相談支援とケアマネジメント	
11:05~11:15	10	休憩	
11:15~11:30	15	【演習 1 -1】 セルフチェック	様式4、個別W
11:30~12:00	30	【演習 1 -2】 アイスブレイク(自己紹介他)	GW
12:00~13:00	60	昼休憩	
13:00~14:00	60	【演習 2】 事例報告・検討	GW
14:00~14:10	10	休憩	
14:10~15:10	60	【演習 2】 事例報告・検討	GW
15:10~15:20	10	休憩	
15:20~16:20	60	【演習 2】 事例報告・検討	GW
16:20~16:30	10	休憩	
16:30~17:00	30	【講義】 インターバルの整理、まとめ	様式 6、GW

演習 1-1

セルフチェック

所用時間：15分

- ・自身の振り返りを正直に記入しましょう。

演習1-2

各グループにて自己紹介

所用時間：1人あたり2分×6名

- ・所属・お名前・業務内容（計画、委託、基幹など）
- ・私のストレス解消法、ささやかな楽しみ、など

演習1-2

グラントルール・役割分担

所用時間：15分

留意事項：

司会進行する際は、名前を呼んだあとに発言を促す。

意見はいきなり発言するのではなく挙手して「〇〇さん」と当てられてから発言する。

周りの人は、頷きや拍手、ジェスチャーなどリアクションを見ただけでもわかるようにする。

グラントルール（例） 演習の留意点

- 周りの人に関心を持って、積極的に参加しましょう
- 他の方の発言に敬意をはらいましょう
- 自分と意見が違ったとしても相手の良い所に注目しましょう
- 発言は長くて90秒と心がけましょう
- 『聞くは一瞬の恥、聞かぬは一生の恥』を念頭におきましょう
- ユーモアを忘れずに
- 忙しいのは皆同じ、と知りましょう
- 専門用語や地域性、自分の経験のみでの発言は十分に配慮しましょう
- 自分の意見にこだわり、議論が同じ所で繰り返されないように配慮しましょう
- 互いの話をよく聴いて受け止め、共感しあいましょう

演習 2

事例報告・検討

所用時間：1人あたり30分×6名

- ・ 提出した事前課題を基に、個別相談支援とケアマネジメントの報告・検討を行う

事例発表の目安

時間の目安	
発表者①	13:00～13:30
発表者②	13:30～14:00
発表者③	14:10～14:40
発表者④	14:40～15:10
発表者⑤	15:20～15:50
発表者⑥	15:50～16:20

進行の目安	
事例概要 (7分)	<ul style="list-style-type: none">・事例概要（どのような人か参加者がイメージできるように説明）・本人の希望・提出理由（発表者が検討してほしいこと）・支援経過
質疑応答 (15分)	<ul style="list-style-type: none">・基本的視点（アセスメント、モニタリング、意思決定支援）に基づき、深掘り
ブレインストーミング (8分)	<ul style="list-style-type: none">・本人像や本人の思いの推察・具体的なアイデア出し

検討（助言）のポイント

- ・ 発表者が検討してほしい事柄について、どのように支援が行われてきたか、どのように支援していくかを検討し助言を行う。また、事例の印象（感想）を述べる。
- ・ 講義で説明された基本的視点のポイントについて確認する。
- ・ 先に支援者の結論ありきで話を進めていないか。

演習 3

インターバルの整理

グループワーク：15分程度

- ・ 事例報告・検討での助言を参考にしながら整理する。
- ・ インターバル期間中に行えるものに優先順位をつける。

本日のまとめ

相談支援専門員の成長イメージ

